

本のさがし方

～ 本にも住所がある！？ ～

調べることをはっきりさせる

〈例〉

「地しんはなぜおこるのか」



言葉(キーワード)にして調べていく

「地しん」

(まず、事典などで調べてみよう)

調べたいこと	／	どの事典などを使うか	分類番号
●ことばについて	→	国語辞典(こくごじてん)	813
●漢字について	→	漢和辞典(かんわじてん)	813
●人について	→	人物事典(じんぶつじてん)・百科事典	28・031
●ものごとの1年間の変り方やまとめ、統計など	→	年鑑(ねんかん)	35
●埼玉や自分たちの住む市について	→	郷土資料(きょうどしりょう)	(さいたま)
●そのほかのこと	→	百科事典(ひやっかじてん)	031

(事典などには出ていなかった・もっとくわしく知りたい)

ぶんるいばんごう

本の住所(分類番号)をもとにして本をさがす

本にも「東町1-2-3」のような住所があります。

それが、この図書室ろうか側の上のパネル「分類表の番号」です。
この番号のことを分類番号といいます。

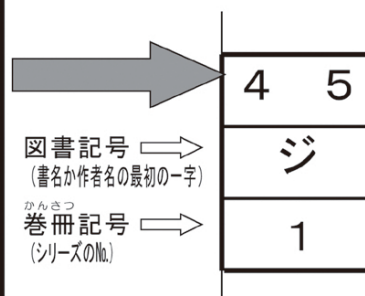
世の中のすべてのことについて、種類や内容ごとにこの分類番号をつけ、本の整理をする仕組みが図書館にはあるのです。

つまり、本の住所を利用して、同じ種類や内容の本がいつも同じ本だなの同じ所にあるようになっているのです。

だから、自分が調べていることの住所である
分類番号を調べて、その住所の本だなを
さがせば、むだなく本がさがせます。



●分類番号●



※このような本のせなかのシールを「分類ラベル」という。

「分類表」0～9のどの住所か調べる

「算数・理科・自然のこと」→「4」

さらにくわしい住所を調べる

「地しん」→「45」

その住所(分類番号)の本だなでさがす

本があった！

本がない・・・

「もくじ」や「さくいん」を使って調べる



もう一度「分類表」のどの住所か考える
または
言葉(キーワード)を変えてやり直す

